

令和3年度 第1回事業評価監視委員会〔令和3年9月29日開催〕

【事後評価】 撫養港海岸 直轄海岸保全施設整備事業 資料-5-1(P4)の正誤表

○訂正前

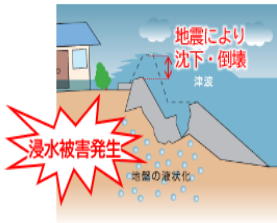
○訂正後 ※緑枠部分

3. 事業効果の発現状況

1) 事業の投資効果（浸水被害の軽減）

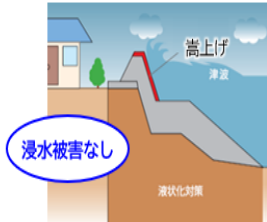
- 本事業を実施することにより、南海トラフを震源域とする地震のうち、発生頻度の高い津波（L1津波）による背後地の浸水被害を防止することが可能となり、家屋や事業所等の資産に対する防災効果が期待できる。

Without時：背後地に浸水被害発生

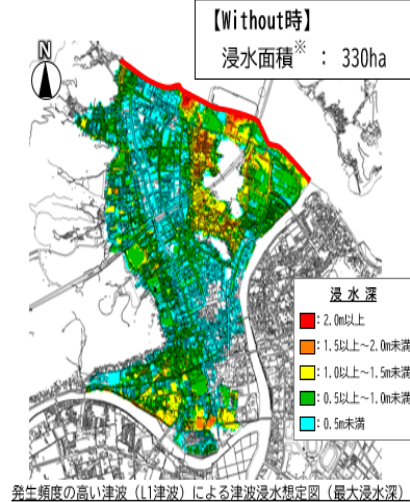


浸水被害額
1,261億円

With時：海岸保全施設により浸水被害なし



浸水被害額
0億円



浸水被害軽減額※：1,261億円

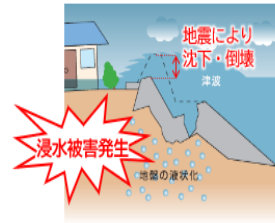
※ 浸水面積及び浸水被害額は堤外地を除いた値。
（浸水被害額は地震発生確率を乗じる前の値。）
河川からの流入はないものとして試算。

3. 事業効果の発現状況

1) 事業の投資効果（浸水被害の軽減）

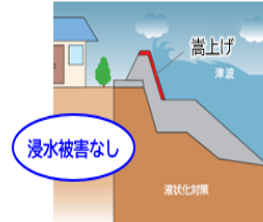
- 本事業を実施することにより、南海トラフを震源域とする地震のうち、発生頻度の高い津波（L1津波）による背後地の浸水被害を防止することが可能となり、家屋や事業所等の資産に対する防災効果が期待できる。

Without時：背後地に浸水被害発生

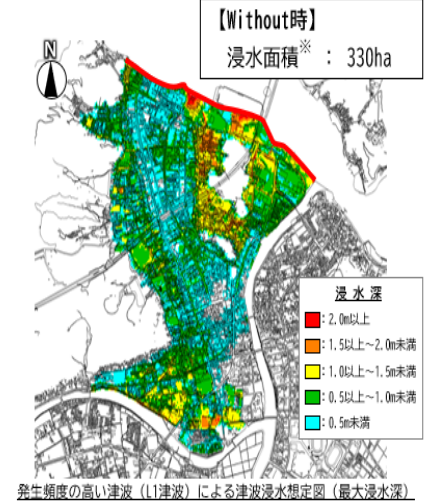


浸水被害額
1,260億円

With時：海岸保全施設により浸水被害なし



浸水被害額
0億円



浸水被害軽減額※：1,260億円

※ 浸水面積及び浸水被害額は堤外地を除いた値。
（浸水被害額は地震発生確率を乗じる前の値。）
河川からの流入はないものとして試算。